

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公表番号】特表2007-502853(P2007-502853A)

【公表日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-006

【出願番号】特願2006-530212(P2006-530212)

【国際特許分類】

A 0 1 N	43/38	(2006.01)
C 1 1 D	3/39	(2006.01)
C 1 1 D	1/722	(2006.01)
C 1 1 D	17/06	(2006.01)
A 0 1 N	25/30	(2006.01)
A 0 1 N	25/02	(2006.01)
A 0 1 P	3/00	(2006.01)
D 0 6 L	3/02	(2006.01)
D 0 6 L	3/16	(2006.01)

【F I】

A 0 1 N	43/38
C 1 1 D	3/39
C 1 1 D	1/722
C 1 1 D	17/06
A 0 1 N	25/30
A 0 1 N	25/02
A 0 1 P	3/00
D 0 6 L	3/02
D 0 6 L	3/16

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

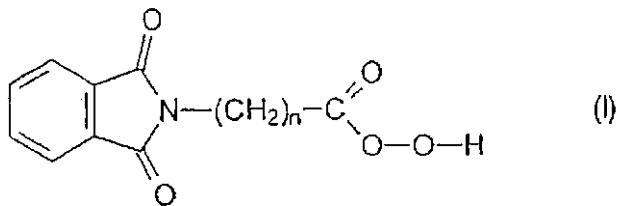
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

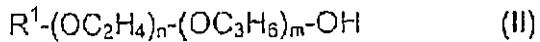
有機ペルオキシ酸及び界面活性剤を含む消毒性組成物であつて、
前記有機ペルオキシ酸は下記一般式(I)

【化1】



(式中、nは1～5の整数である)のフタルイミドペルカルボン酸から選ばれ、そして、前記界面活性剤は下記一般式(I)

【化2】



(式中、R¹は7～20個の炭素原子を含む直鎖もしくは枝分かれアルキルもしくはアルケニル基であり、平均エトキシリ化度(the mean degree of ethoxylation)nと平均プロポキシリ化度(the mean degree of propoxylation)mとの合計は0.5～7である)の少なくとも1種のノニオン性界面活性剤から選ばれ、20分又は40分の接触時間で洗濯洗浄剤として使用するならば消毒活性を示す、消毒性組成物。

【請求項2】

ペルオキシ酸/界面活性剤の重量比は20：1～1：1である、請求項1記載の組成物。

【請求項3】

式(I)によるノニオン性界面活性剤の平均エトキシリ化度nと平均プロポキシリ化度mとの合計は1～5である、請求項1又は2記載の組成物。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項記載の消毒性組成物を含む洗浄剤であって、洗浄剤総量の有機ペルオキシ酸の含有分は3～30質量%である、洗浄剤。

【請求項5】

洗濯物の洗濯のための請求項4記載の洗浄剤の使用。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明による組成物において、フタルイミドペルカルボン酸はフタルイミド過酢酸、フタルイミドペルプロピオン酸、フタルイミドペル酪酸、フタルイミドペルアミル酸及びフタルイミドペルカプロン酸からなる群より選ばれることができ、フタルイミドペルカプロン酸は最も好ましい有機ペルオキシ酸である。